

- 令和4年2月1日、パッケージをCSTI本会議にて決定。
- 令和5年2月8日、予算額の量的な拡大及び目指すべき方向性の提示等質的な拡充を図り、CSTI本会議にてパッケージを改定。
- 今回の改定は、内容面は行わず、予算額の令和6年度政府予算案への更新・対象事業の追加及び参考事例等の時点更新を予定（CSTI本会議で決定）。
- あわせて、予算額や参考事例等年次での時点更新が発生する部分については「別紙」とし、次年度以降の時点更新はCSTI有識者会合（木曜会合）への報告で対応できるようパッケージの構成を変更。

更新箇所

- ◆ 令和6年度予算額 **446億円**
（令和5年度予算額（442億円）比 **4億円増**）

この他、関連予算として **951億円**
（令和5年度予算額（720億円）比 **231億円増**）

※関連事業とは、大学が参画することも可能な事業。
※予算規模については、内数のものも総額を計上

- ◆ 地域中核大学イノベーション創出環境強化事業の令和5年度採択実績への更新

等

構成の変更

- ◆ 「総合振興パッケージ」の取組を別紙①、「関連事業マップ」を別紙②として、次年度以降の時点更新についてはCSTI有識者会合（木曜会合）への報告で対応。

1. 背景
2. 目指す大学像と目的
3. 総合振興パッケージ
 - 3-1. 大学自身の取組の強化
 - 3-2. 繋ぐ仕組みの強化
 - 3-3. 地域社会における大学の活躍の促進
4. 今後に向けて
5. 別紙（関連事業マップ）
6. 参考資料

1. 背景
2. 目指す大学像と目的
3. 総合振興パッケージ
4. 今後に向けて

別紙①（総合振興パッケージの取組）

- ①-1. 大学自身の取組の強化
- ①-2. 繋ぐ仕組みの強化
- ①-3. 地域社会における大学の活躍の促進

別紙②（関連事業マップ）

参考資料